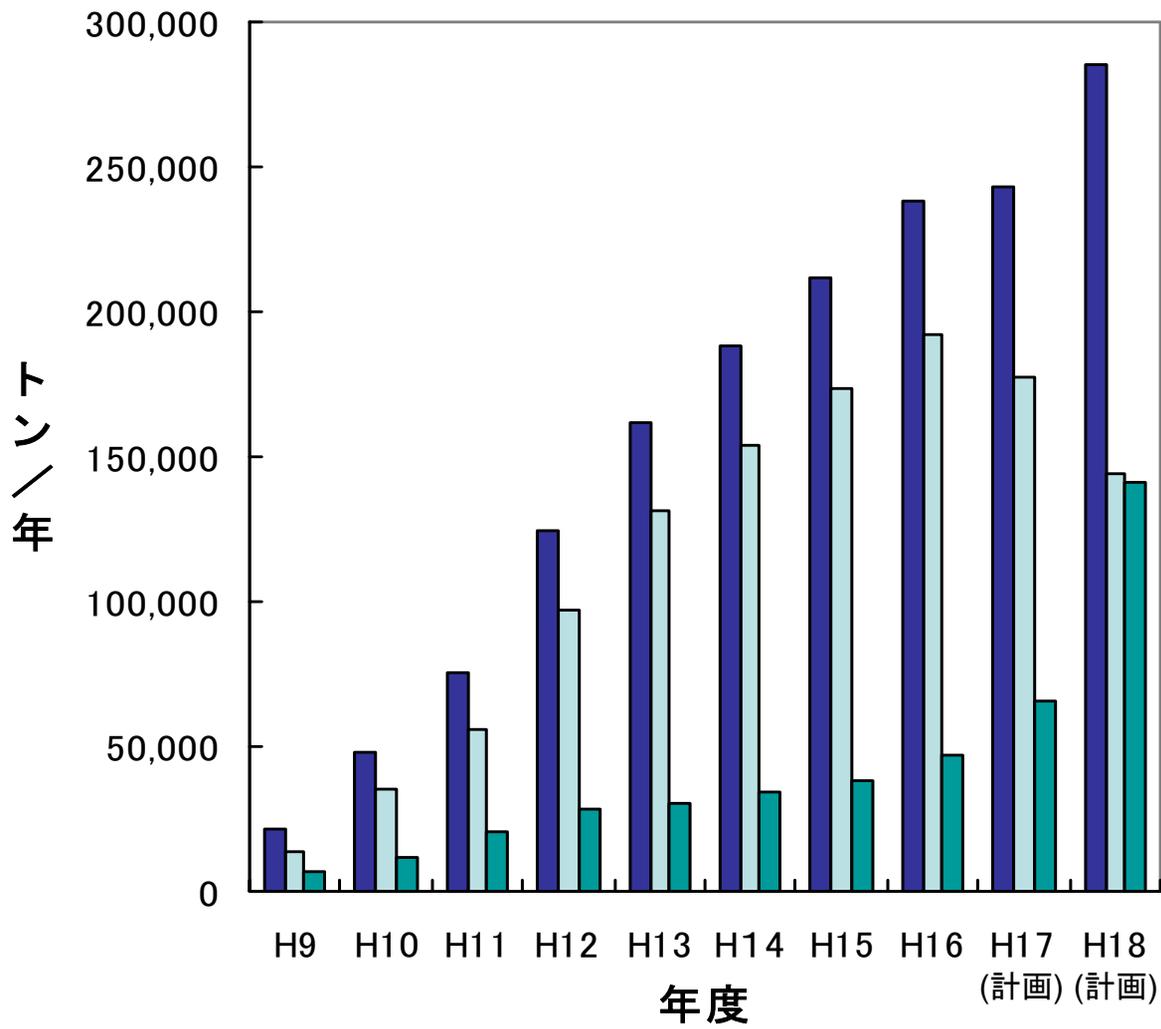


# 自治体分別収集量と指定法人収集量の関係(ペットボトル)



■ 自治体分別収集量  
■ 指定法人収集量  
■ 自治体収集量-指定法人収集量

どこに行って、何になったか？  
安全・安心は保証されているか？  
**現状、無管理状態！！**

# Dボールに混入していた不衛生な異物例

不衛生な例：残液等が**腐敗性**



腐敗した残液等



不衛生な例：注射針等の**細菌性**



閉じ込められた注射針



# 容リ法指定法人ルートと自治体独自ルートの「安全・安心」の違い

## ＜事業者登録提出条件＞

- 再生処理事業者登録申込書
  - ・施設の能力
- 再商品化製品引取同意書
  - ・再利用事業者毎の製品用途・引取量・価格・品質規格
  - ・再利用事業者の代表者印
- 財務諸表
- 納税証明書
- 代表者登録印の印鑑証明書
- 施設審査関係書類一式
  - ・設備ラインフロー図、設備レイアウト図
  - ・設備物質収支
  - ・設備機器リスト、主要機器の仕様書・外形図
  - ・立地付近見取図、配置図
  - ・設備能力の設定根拠
  - ・操業体制
  - ・品質管理
  - ・原料及び製品の保管場所の位置、寸法、保管量
  - ・建築確認済証のコピー
  - ・土地の登記簿謄本／土地の賃貸契約書コピー
  - ・土地の公図コピー
  - ・建物の登録簿謄本……
  - ・一般廃棄物処理施設設置許可証及び認定講習修了証のコピー
  - ・残渣処理計画書
  - ・特定施設設置届のコピー

上記資料提出と現地審査実施、更に再利用事業者の審査実施

## 再商品化 事業者 の責務

## 指定法人ルートの「安全・安心」

## ＜実績管理＞

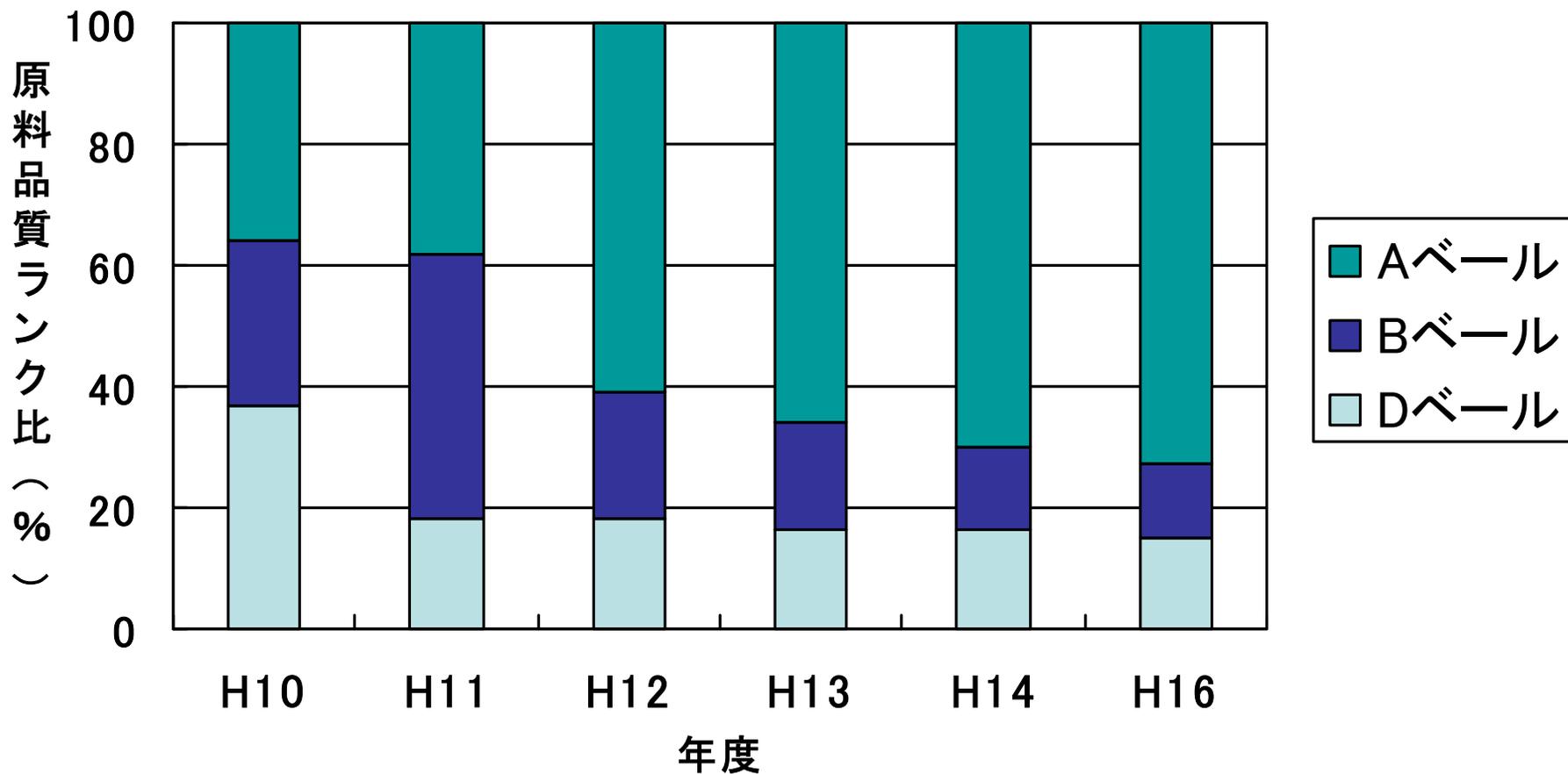
- 再生処理操業状況(月毎)
  - ・実稼働時間・日数
  - ・原料投入量
  - ・出来高(製品、残渣)
  - ・再商品化率
- 残渣処理実態(半期毎)
  - ・残渣種類別の量・処理方法・処理先  
マニフェスト等
- 原料・中間仕掛・製品・残渣在庫(半期末)
  - ・それぞれの品目別・自治体別在庫量
- 市町村からの引取実績報告書(毎月)
- 再商品化製品引渡実績報告書(毎月)
- 再商品化製品受領書(毎月:ユーザー毎)

## 自治体独自ルートの不安

「有償」と言うだけで一般廃棄物が  
不安な状態にある

- 再生品の品質や利用先・残渣処理
  - 再生処理の環境保全対策実施状況
- 等々自治体の大半が無管理状態

# PETボトル分別基準適合物の品質調査結果(指定法人ルート)



# PET容器と缶容器の違い

	構成	再利用条件	安全・安心		分別・選別の 必要性
			衛生対策	残渣処理	
PET 容器	数種のプラスチック (PET, PP, PS, PE)	低温溶融処理 ( $<300^{\circ}\text{C}$ )	殺菌・毒性への 対応に限界	残渣発生 要処理	市民と自治体の 徹底した協力が 必須
缶 容器	1, 2種の金属 (Al, Fe)	高温スラグ反応 処理 (Al: $>600^{\circ}\text{C}$ 、F e: $>1500^{\circ}\text{C}$ )	殺菌・毒性への 対応可	残渣はスラグ 化で埋没	市民と自治体の 分別がある程度 必要だが、常識 の範囲で可

# ペットボトルリサイクル再商品化単価推移

